

平成29年 第2回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 平成29年2月16日(木) 開始時刻 午後1時15分
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 水越教育長, 大場委員, 伊藤委員, 山田委員, 清島委員
- 4 説明員 篠塚教育次長, 小堀学校教育担当次長, 梓澤教育企画課長, 増淵総務担当主幹, 神谷学校管理課長, 栗原学校教育課長, 大島学校健康課長, 大久保生涯学習課長, 伊藤中央図書館長, 松本文化課長, 阿部スポーツ振興課長, 小林教育センター所長
- 5 書記 大出課長補佐, 小島総務担当副主幹, 田上係長, 横塚係長, 坪井主事
- 6 傍聴者 0名
- 7 議題
 - (1) 審議事項
 - 議案第2号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
 - 議案第3号 平成29年度教育委員会の組織について
 - 議案第4号 河内採択地区教科用図書採択協議会規約の一部改正
 - 議案第5号 「第2次宇都宮市スポーツ施設整備計画」(案)について
 - (2) 報告事項
 - 報告第5号 教育行政相談の内容と対応について
 - 報告第6号 平成28年度教育委員会主要事業の進行管理について
 - 報告第7号 「(仮称)第2次宇都宮市学校教育推進計画」の策定について
 - 報告第8号 宮っ子表彰及び義務教育皆勤賞表彰について
 - 報告第9号 平成28年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞について
 - 報告第10号 「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの平成28年度結果概要について
 - 報告第11号 平成28年度本市児童生徒の体力について
 - 報告第12号 宇都宮市文化会館大規模改修工事について
 - (3) その他
 - ① 隣接校との通学区域弾力化等による平成29年度入学者の募集結果について
 - ② 宇都宮市立図書館「リサイクル市」の実施結果について
 - ③ 南図書館開館5周年記念事業「あらしのよるに」の開催について
 - ④ 南図書館 文学座俳優とピアノ演奏による朗読劇「人間椅子・雪おんな」の開催について
 - ⑤ 第58回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会の結果について

8 議事の内容

教育長

それでは、ただいまから平成29年第2回宇都宮市教育委員会を開会します。
会議録署名委員の指名 伊藤委員，山田委員

前回の教育委員会の会議録についてご意見などありますか。

(特になし，全員了承)

大場委員，伊藤委員に署名をお願いします。(会議録に署名)

教育長

それでは，本日の議事に入ります。

議案第2号，議案第3号及び報告第5号は，「意思形成過程にあるもの」及び「個人情報が含まれているもの」であるため，非公開としてよろしいでしょうか。

(全員賛成)

教育長

全員賛成ですので，これらにつきましては非公開といたします。

教育長

それでは，審議事項に入ります。

学校教育課長

議案第4号 河内採択地区教科用図書採択協議会規約の一部改正について説明
願います。

【説明要旨】

- 河内採択地区教科用図書採択協議会のより円滑な進行を図るため，規約の第12条及び第14条を改正する。
- 教科用図書の選定の方法（第12条）については，これまで，協議会に出席した委員全員の一致によって決し，協議が調わない種目があるときは投票を行うこととしていたが，改正により，協議会の会議において協議のうえ投票を行い，過半数をもって決することとする。
- 議事録及び資料の公表（第14条）については，これまで，協議会の会議録及び第8条第3項の調査員会の資料を公表することとしていたが，改正により，協議会委員及び協議会調査員の名簿についても公表することとする。

教育長

説明が終わりましたが，質疑などありますか。(特になし)

このとおり決定してよろしいか。(全員了承)

それでは，議案第4号を決定いたします。

教育長

続きまして，**議案第5号 「第2次宇都宮市スポーツ施設整備計画」(案)**につ
いて説明願います。

【説明要旨】

スポーツ振興課長

- 平成28年度第1回宇都宮市スポーツ推進審議会及びパブリックコメントにおける第2次宇都宮市スポーツ施設整備計画(素案)に対する意見を踏まえて計画(案)を作成した。

スポーツ振興課長

- 推進審議会において5件、パブリックコメントにおいて3件の意見があり、そのうち、障がい者に関する意見を計画に反映した。
(平成28年度第1回宇都宮市スポーツ推進審議会での意見)
 - ・ 障がい者に対する視点については、どう考えているのか。
 - ・ 「バリアフリー」よりも、「ユニバーサルデザイン」などとした方が、全体をカバーした表現になるのではないか。⇒ バリアフリー化整備に関する記載について、高齢者以外に障がい者等の視点を追記<計画本編13頁, 30頁>

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし)

教育長

このとおり決定してよろしいか。(全員了承)

教育長

それでは、議案第5号を決定いたします。

教育長

次に、報告事項に入ります。

報告第6号 平成28年度教育委員会主要事業の進行管理について説明願います。

教育企画課長

【説明要旨(前半)】

- 事務局の事務執行にかかるチェック機能の強化を図るため、平成28年度教育委員会主要事業の進捗状況について、年度末までの予定を含めて報告する。なお、8月までの進捗状況については、平成28年9月の定例会にて報告済みである。
- 一部の事業において若干の遅れがあるものの、ほとんどの事業が概ね当初予定どおりの進捗状況となっている。
- 教育企画課
 - (1) 人づくりの推進
 - ・ 11月に人づくりフォーラムを開催し約9,000名が来場した。次年度は10回記念の開催となり、会場は作新学院大学に変更する。
 - ・ 1月以降「大人の行動目標」策定にかかるワーキンググループを開催し、大人が子どもの手本となるための拠り所となるものを検討していく。
 - (2) 新設小学校の整備
 - ・ 開校準備においては、1月に検討委員会を立ち上げた。
 - ・ 施設整備においては、1月に設計事業者を選定し、2月に契約締結をする予定である。
- 学校管理課
 - (1) 学校施設の老朽化対策(校舎大規模改造事業の計画的推進)
 - ・ 校舎の老朽度を測るための材質調査である柱のコア抜き調査を予算要求した。
 - ・ 1月から、今後の事業推進スキームを検討している。
 - ・ 今後は、コア抜き調査の結果などを踏まえ、標準的な整備内容や整備順序などを検討し、整備計画を策定する。

(2) トイレ洋式化計画の推進

- ・ 11月に、文部科学省補正予算の採択を受け、小学校7校分について、補正予算を計上した。
- ・ 当初予算分の9校分については、今年度中に終了する予定である。
- ・ 体育館については避難所機能もあることから、洋式化の必要性について整理していく。

○ 学校教育課

(1) 小中一貫教育・地域学校園の推進

- ・ 2月には、担当指導主事の学校訪問等による進捗状況のまとめを行い、校長会議にて報告した。
- ・ 今後は、自主的・主体的な取組の一層の推進や、教職員の資質向上や業務の効率化等を図る取組の推進に努める。

(2) 学校教育推進計画の策定（報告第7号にて説明するため省略）

(3) 学力の向上

- ・ 学力調査等の結果分析を踏まえ、校長会議における結果や課題改善に向けた取組の説明や、新たに教育委員会内に設けた学力向上対策検討会議の実施により、学力向上対策について検討している。
- ・ 今後は、小学校英語や道徳の教科化に向けた市指定研究地域学校園による研究を推進するほか、学力向上対策検討会議を通じた実効性の高い学力向上策を検討していく。

(4) 心の教育の推進とたくましさの涵養

- ・ 宮っ子心の教育表彰の実施により推進している。
- ・ 今後も、道徳の授業を核とした「宮っ子心の教育」の推進や、認め励ます教育、「たくましさ」の涵養を図る取組の着実な推進に努める。

(5) 学校経営の改善

- ・ 3年間の集中強化年度は今年度で最後となる。
- ・ 校長会によるワーキングチームを新設し、会議にて主体的方策を検討した。
- ・ 12月と2月に、学校経営改善に関する検討委員会を開催しており、今後、全教職員対象のアンケートを実施する予定である。
- ・ 集中強化年度は終了するが、校長会によるワーキングチーム会議を継続するとともに、全教職員対象のアンケート結果を踏まえ、今後の取組に反映させていく。

(6) 児童生徒指導の強化

- ・ 今年度、新たにノースマホデーを実施した。
- ・ スクールソーシャルワーカーの勤務体制を強化するための予算を要求している。
- ・ 今後は、問題行動等の低年齢化への対応や、スマホ等に関する指導の充実・強化を図る。

○ 学校健康課

(1) 食育・体力向上推進計画の改定

- ・ 今後は、現行計画の評価を行い、課題分析をもとに、生涯を通じて健やかに生活できる児童生徒の育成を目指した施策事業を検討していく。

(2) 学校・家庭・地域・企業が連携した食育の推進

- ・ お弁当コンクールや食育フェア、お弁当の日を実施した。
- ・ 今後は、9年が経過したお弁当の日の成果をとりまとめ、より一層効果的な取組手法を検討する。

(3) 体力向上の推進

- ・ 投力の弱さの解消を図るため、元気っ子チャレンジでボール投げリレーを実施した。(今後の取組は、報告第11号にて説明するため省略)

(4) 部活動の充実・部活動のあり方の検討

- ・ 2月に、部活動指針についての取組状況把握を行う予定である。
- ・ 今後は、部活動のあり方の再評価による「部活動指針」の検討、作成をするほか、国の動向を踏まえた地域指導者のあり方について検討する。

教育長

前半の説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員

校長会等によるワーキングチーム会議等があるが、校長会とはどのような組織なのか。校長会の中に分科会があるのか。

学校教育課長

校長会は市の組織ではなく任意団体であり、小学校長が集まる小学校長会と、中学校長が集まる中学校長会がある。年度ごとに研究テーマをいくつか決めて、テーマごとにグループになり研究するなどしている。組織運営としては、会長や副会長、理事などの役職がある。

伊藤委員

こちらの要望に応じてワーキングチーム等をつくっているのか。市教委との関係はどうなっているのか。

学校教育課長

市教委は、校長会に対して具体的な指示をする立場ではない。「児童生徒と向き合う時間の充実に向けたアクションプラン」における校長会等によるワーキングチームについては、市教委が事業を進めていくなかで、校長会から「校長会としてもワーキングチームをつくって取り組みたい」との意見をいただいたため、校長会のワーキングチームに市教委の担当者が入り、一緒に取り組むこととなった。

伊藤委員

非常に有用な組織である。校長会で議論・研究した内容について、教育委員会内で共有しているのか。

学校教育課長

このワーキングチームについては、主体は校長会であるが、市教委の担当者が入ることで、市教委としての意見を述べたり、校長会からの意見を市教委に持ち帰り協議するなど、意思疎通を図りながら取り組んでいる。なお、他にも副校長会や教務主任会の代表などが参加している。

教育長

その他にも、年に数回、校長会の代表者と市教委とで問題点についての議論や提案などをし、校長会との意見交換会を開催している。

伊藤委員

校長会の協議内容を私たち教育委員が知る機会はあるのか。校長先生方は、経験豊富で幅広く物事を考えられることから、非常に有益なことが話し合われていると思うので、協議内容を教育委員にも知らせてほしい。

教育長 結果として施策に反映されたものについてはお知らせしているが、校長会で話し合われた内容についてはお知らせしていない。

伊藤委員 校長会で練られた提案が施策のソースになっている場合は、どのような協議があったかを教えてほしい。

学校教育課長 雑務的なものもあるので、内容のレベルにもよると思うが、必要なものについては教育委員会にも報告していきたい。また、教育委員の皆さまから意見があれば、校長会で共有することも考えたい。

教育長 今回のアクションプランの中では、校長会から「校務分掌標準化プラン」を提案いただき実施することとなった。伊藤委員のおっしゃるように、校長会は頭脳集団であるため、一緒に考えたい課題を市教委から提案して、ワーキングチームをつくって考えてもらっている。

清島委員 トイレの洋式化は、最終的に100%を目指しているのか。

学校管理課長 最終的には100%を目指している。当面は平成32年度までに約50%を目標に進めている。

清島委員 文化の視点から和式トイレを残すべきかどうかについて、どのように考えているのか。

教育長 和式を使えない子どももいる。社会全体ではまだ残っているので、学校以外のところで体験することができるだろう。

学校管理課長 数校を対象にアンケート調査をしたところであるが、ほとんどの子どもが洋式化を望んでいた。

大場委員 避難所機能も踏まえた体育館トイレ洋式化の検討とあるが、校舎のトイレ洋式化との実施ペースについてはどう考えているのか。

学校管理課長 熊本地震の際、体育館のトイレが高齢者の使用を考慮したものではなく、高齢者が不便だったということがあったため、避難所としてのトイレ洋式化を実施計画に計上したが、避難所機能を再整理する必要があると考えていることから、来年度は担当課と協議しながら洋式化を進めていきたい。実施ペースについては、少なくとも校舎の洋式化と並行して進めたいと考えているが、場合によっては体育館を優先することも考えられるため、庁内で検討していきたい。

山田委員 指導力の向上について、教育情報システムのキャビネットに各校や地域の取組を他の学校や地域に情報提供するために掲示できるそうだが、アップが大変だと聞いたことがある。せっきくのシステムが使われないのはもったいない。どのような仕組みなのかも含めて教えてほしい。

教育センター所長 教育情報システムのキャビネットに、教員が作成した指導案や資料を蓄積して共有できるようになっているが、アップが大変だという話は聞いたことがない。

山田委員 キャビネットには、年間を通して多くの取組事例がアップされているのか。

教育センター所長 こちらから依頼して作成してもらった資料についてはアップされているが、教員自身がつくった資料をどれだけ積極的にアップしているかは把握していない。その他に、地域教材など、教育センターが関わりながらつくるデジタルコンテンツがアップされている。

山田委員 取組をアップしたいが、アップするための資料をつくる時間がないという話を聞いた。

教育センター所長 紙ベース資料のアップや、学校から送られたメールの添付文書を教育センターからアップすることもできる。効率的にアップできるように検討していきたい。

伊藤委員 モンスターペアレンツについては、どこで受けてどのような対応をしているのか。校長会で取り上げられたことはあるのか。

学校教育課長 学校において保護者対応に困っている場合、基本的には学校いきいきグループに、教職員との関係であれば教職員グループに相談があるので、アドバイスをしている。校長会では、保護者対応についてというようなテーマで研究したグループがあったと記憶している。

伊藤委員 教育委員会に相談する前には、校長や副校長が対応しているのだろう。また、教育委員会まで相談がなくても、各学校で校長や副校長が非常に苦しんでいる事例も多くあるだろう。保護者対応に多くの時間を割くようなら、弁護士に相談する方策もあるため、校長の実感を聞いたうえで措置がとれればと思っている。

教育企画課長 今後、弁護士会との連携がどのように図れるか検討させていただく。

清島委員 「心の教育の推進とたくましさの涵養」について、たくましさを育む活動を行う冒険活動センターについて記載がないのはどうしてか。

教育長 冒険活動センターも、たくましさの涵養において大切な役割を担っているが、他にも体育の授業など、様々な面からたくましさの涵養に取り組んでいる。

教育センター所長 教育センターの機能の一つに調査・研究があり、来年度は冒険活動センターの調査・研究をしようと計画しているところである。

スポーツ振興課長 冒険活動センターにおいて、どれだけたくましくなっているかという調査を2年かけて行っている。今後、調査結果を冊子にする予定なので、完成したら改めて報告する。

大場委員 どれだけたくましくなっているかというのは、どのように調査したのか。

スポーツ振興課長 宿泊研修の前後でどれだけ意識が変わったかを調査している。

【説明要旨（後半）】

教育企画課長

- 生涯学習課
 - (1) 地域教育の着実な推進
 - ・ 次年度の地域教育推進計画の改定に向けて、社会教育生涯学習に関する市民意識調査を実施した。
 - ・ 11月に全児童へ配布した大人のモラル啓発物「コドモのメセン」は、多数のメディアに取り上げられた。
 - ・ 今後は、市民意識調査の結果等を踏まえ、次期地域教育推進計画を策定するほか、時代を担う「人づくり」の推進や、地域人材マッチング機能の効果的な活用に取り組んでいく。
 - (2) 家庭教育支援の推進
 - ・ 地域教育メッセにおける「地域DE子育て交流会」の開催や、「こどもるっくる」の発行に取り組んだ。
 - ・ 親学出前講座については、前年度と同じ、145件を見込んでいる。

- ・ 今後は、うつのみや版親学の浸透・学習機会提供の充実や、家庭教育支援者・団体への支援と活動機会の充実に取り組んでいく。
- (3) 魅力ある学校づくり地域協議会事業の推進
- ・ 地域教育メッセに出展いただくほか、情報交換会や研修会の開催、活動事例集の発行などにより、取組の充実を支援している。
 - ・ 今後も、活動支援の充実や、地域コーディネーターの複数配置の促進、地域協議会活動への協力者・参加者の拡大に取り組んでいく。
- (4) 宮っ子ステーション事業の推進
- ・ 放課後子ども教室実施校区の拡大については、今年度、築瀬小と岡本小にて事業を開始し、66校区中52校区まで拡大した。今後は、立ち上げに向けた進捗がある2校を確実に立ち上げるとともに、その他の校区についても早期の立ち上げに向けて取り組んでいく。
 - ・ 「子ども・子育て支援新制度」の円滑な実施については、10月に富屋小の子どもの家建設工事が完了し、3月には新設4校及び改修3校の工事が完了する予定である。また、今年度から制度化した障がい児対応アドバイザー派遣件数は80件を見込んでいる。今後は、平成32年度に支援単位の上限引下げを予定していることから、利用児童数を適切に把握しながら、不足する事業実施場所の確保に取り組んでいく。
 - ・ 宮っ子ステーションの運営支援の強化については、新たに、生活困窮世帯の保護者負担金助成制度を新年度予算に計上した。予算が認められれば、子どもの家等や関係課との連携を十分に図りながら、円滑な事業の実施を図るとともに、事務負担の更なる軽減に向けた検討を行っていく。
- (5) 市民の読書活動の推進と読書環境の整備
- ・ 3月には、南図書館開館5周年記念事業を開催する予定である。
 - ・ 今後は、「宇都宮市読書活動推進計画」の評価を行い、次期計画を策定するほか、引き続き、サービスの充実強化や読書環境の整備に取り組んでいく。
- 文化課
- (1) 歴史文化基本構想の策定及び日本遺産認定に向けた取組
- ・ 「(仮称)宇都宮市歴史文化基本構想」の策定にかかる検討として、懇談会や策定委員会を開催したところである。
 - ・ 3月には関連文化財群の設定を予定している。
 - ・ 今後は、歴史文化基本構想の策定に向けて、関連文化財群の保存活用のあり方の検討を進めるほか、日本遺産認定に向けて、「大谷石」関連文化財に関する資料収集やストーリー案の作成を進めていく。
- (2) 文化情報の集約発信機能の強化
- ・ 10月から、まちなか文化情報交流拠点の機能抽出にかかる検討を進めている。
 - ・ 今後は、先進都市の状況把握や必要な機能等について検討するほか、最新の情報通信技術の動向・特徴の把握と活用方策について検討していく。

(3) 宇都宮市文化会館の改修及び円滑な開館準備（報告第12号及び文化会館視察にて説明予定のため省略）

(4) 宇都宮伝統（ふるさと）文化継承事業の推進

- ・ 今年度の宮っ子伝統文化体験教室は15校で実施する予定である。
- ・ 今後も引き続き、宮っ子伝統文化体験教室と伝統文化フェスティバルを実施する。

(5) 百人一首事業の推進

- ・ 10月に開催した市民大会及び全国大会は、どちらも過去最多の参加者数となった。
- ・ 今後も引き続き、普及啓発事業の実施に取り組んでいく。

○ スポーツ振興課

(1) 「ひとり1スポーツ」の推進

- ・ 地域スポーツクラブ事業の推進については、11月に細谷地区でクラブ設立意向による地域状況ヒアリングを行ったほか、3月には新設促進の方策や既存クラブへの支援のあり方の整理を行う予定である。今後も、新設に向けた積極的な働きかけやクラブの魅力向上、会員増に向けた支援を実施していく。
- ・ 第30回宇都宮マラソン記念大会開催については、11月に開催し、参加者は5,752名であった。今後は、LRT軌道工事に伴うマラソンの影響について確認し、大会実行委員会へ報告を行う。
- ・ 健康増進事業との連携については、平成30年度の事業開始に向け、担当課である健康増進課との意見交換、情報共有を行っていく。
- ・ 平成29年度関東スポーツ推進委員研究大会開催準備については、先催市の状況等の情報収集や、県事務局との情報共有を行っていく。

(2) スポーツ施設整備計画の改定（議案第5号にて説明済みのため省略）

○ 教育センター

(1) 特別支援教育の推進

- ・ 合理的配慮に係る基本方針の作成・配付や、保護者向け啓発資料の作成・配付に取り組んだ。
- ・ 今後は、かがやきルーム利用人数の引き上げを試行的に実施した結果をもとに、1単位時間あたりの利用人数の方向性を示すほか、教員の指導力向上に向けた指導の手引きの作成に取り組んでいく。

(2) 不登校の減少に向けた取組の推進

- ・ 不登校対策に係る校長会との意見交換や、学力向上・不登校対策検討会議を開催した。
- ・ 今後も引き続き、不登校の要因・背景の的確な把握・支援策の検討や、不登校対策に関する成果と課題の検証に取り組んでいく。

(3) 教職員の資質・能力の向上

- ・ 1月に今年度開催研修事業の評価・総括を実施し、2月に次年度新規研修事業内容等の検討を開始したところである。

- ・ 今後は、教員の大量退職大量採用に伴う若手・中堅教員の指導力の向上のほか、次期学習指導要領の改訂に備えた研修の実施や、教科横断的視点に立った教員の指導力の習得に取り組んでいく。

(4) 情報教育の推進とICTの効果的な活用

- ・ 今年度は、中学校4校、小学校9校へタブレットを導入した。
- ・ 今後は、教員のICT活用指導力の向上や、活用の定着に向けて取り組んでいく。

教育長 伊藤委員	説明が終わりましたが、質疑などありますか。 不登校の要因に、虐待やネグレクトが含まれている事例がどの程度あるのかを把握しているか。
教育センター所長	様々な要素が重なって不登校につながる 경우가多く、虐待やネグレクトを要因として不登校になったケースが何件あるかは具体的な把握はしていないが、虐待やネグレクトが要素の1つになっているケースはある。
伊藤委員	その要素がある場合にスクールソーシャルワーカーにつないだりしているのか。
教育センター所長	スクールソーシャルワーカーや子ども家庭支援室につなぐことがある。貧困に関するものや、子どもに対する親の関わり方などの養育に関するものなど、内容によってつなぐ先が異なっており、スクールソーシャルワーカーから生活福祉課につなぐこともある。
伊藤委員	そのような事案はどのくらいあるのか。
教育センター所長	全体の割合と比べるとそれほど多くはない。
学校教育課長	今年度、スクールソーシャルワーカーは約60件の対応をしており、ほとんどが不登校についてである。不登校の児童生徒が約500数十人いることから、スクールソーシャルワーカーにつなぐ事案は全体の約1割ではないかと推測できる。
伊藤委員	児童生徒を守るため、虐待が疑われる場合には、積極的に、慎重な対応をしていかななくてはならない。
学校教育課長	児童相談所への通告は義務であり、虐待については通告がくるようになっている。虐待ではないが、家庭内でうまくいっていないケースもあるため、それらについても、事例を学校に紹介しながら適切な対応をしていきたい。
伊藤委員	肉体的な痕跡の残る虐待は気づきやすいが、虐待とは認知されないことで心が傷ついており不登校になっている場合もあると思うので、対応をお願いしたい。
伊藤委員	「まちなか歴史文化情報交流拠点づくり」について、先進都市とはどこか。
文化課長	歴史・文化の保護という観点では、盛岡市などを考えている。歴史・文化だけでなく芸術などの文化振興という機能も含めて、まちなかにどのような拠点がくれるかを検討・抽出している。検討のうえ、その内容に沿った先進都市の状況を把握していく。
清島委員	民間企業では、仕事が続かず途中で辞めてしまう人が多いという話を、ニュースなどで耳にするが、学校現場ではどうか。
学校教育課長	途中で辞めてしまう人が全くいないわけではなく、中には、メンタル面での傷

病休暇が続いて休職になってしまう人もいる。しかし、すぐに辞めてしまう人が増えていることはなく、市役所職員の離職率と比較しても、低い数値だったと記憶している。

清島委員
大場委員

そのような人になるべく少なくなるように、研修を実施してほしい。

最近、いじめによる自殺のニュースが続いているが、突然の事態に動揺して不安に思うのは当然であるにしても、記者会見における校長先生の発言が非常に心もとなく、聞いていて辛くなる。万が一、本市でそのようなことが起きた場合には、マニュアルなど、どのようなサポート体制があるのか。

学校教育課長

マニュアルのほかにも国や県が出している資料があり、マスコミ対応だけでなく、他の児童生徒への指導についても記載してある。また、市教委の職員を学校に派遣し、使用厳禁の言葉を教えるなどのアドバイスをしたり、相談に乗ったりすることとなっている。

教育長
教育長

このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

それでは、報告第6号を承認いたします。

教育長

続きまして、**報告第7号 「(仮称)第2次宇都宮市学校教育推進計画」の策定について**説明願います。

学校教育課長

【説明要旨】

○ 本市においては、平成18年1月に「宇都宮市学校教育推進計画」を策定し、小中学校の教育活動や学校運営の充実に努めてきたが、これからの社会を創り出していく子どもたち一人一人に求められる資質・能力を確実に育成するための方策や、今後の学校の在り方等を明確化する必要があるため、現行計画を改定し、新たに「(仮称)第2次宇都宮市学校教育推進計画」を策定する。

○ 検討内容

(1) 現状と課題

- ・ 学力や体力に係る各種調査やアンケート調査などに基づく、本市児童生徒及び学校の現状分析
- ・ 現状、市民ニーズ、次期学習指導要領等を踏まえた課題整理

(2) 基本的な考え方

- ・ 現状と課題を踏まえ、新しい時代に求められる学校の在り方を基本理念として明示
- ・ 目指す児童生徒の姿や学校像を基本目標として設定

(3) 具体的な施策事業と重点化

- ・ 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成
- ・ 配慮を要する子供への対応
- ・ 高い指導力と情熱をもつ教職員の育成
- ・ 学校と地域の連携強化 など

教育長
教育長
教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。(特になし)

このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

それでは、報告第7号を承認いたします。

教育長

続きまして、**報告第8号 宮っ子表彰及び義務教育皆勤賞表彰について**説明願います。

教育企画課長

【説明要旨】

- 義務教育期間における皆勤について、本人の努力を称え、本人及び周囲の児童生徒の励みとなるよう、市内の中学校に在籍する全ての生徒を対象とした義務教育9年間皆勤については市長が表彰（宮っ子表彰）を行うとともに、市立小中学校に在籍する児童生徒を対象とした小学校6年間、中学校3年間における皆勤については教育委員会が表彰を行う。
- 被表彰者は2月末日をもって最終決定するが、平成29年2月15日時点での被表彰者数は以下のとおり
 - (1) 宮っ子表彰・義務教育9年間皆勤賞
 - ・ 男子17名、女子31名、計48名（内 私立等6名）
 - ・ 昨年度は計57名と非常に多かったため、昨年度と比較すると減少してはいるが、例年通りの人数を保っている。
 - (2) 小学校6年間皆勤賞
 - ・ 男子33名、女子41名、計74名
 - ・ 直近の5年間の中では、男子の人数が最も多くなっている。
 - (3) 中学校3年間皆勤賞
 - ・ 男子225名、女子334名、計559名
 - ・ 直近の5年間、毎年増加し続けている。

教育長
教育長
教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。（特になし）
このとおり承認してよろしいか。（全員了承）
それでは、報告第8号を承認いたします。

教育長

続きまして、**報告第9号 平成28年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞**について説明願います。

学校教育課長

【説明要旨】

- 教育委員会と宇都宮市立小・中学校が一体となって児童生徒の豊かな心や社会性を育成する「心の教育プロジェクト」の取組として、学校や地域において他の模範となる行動を実践している児童生徒に対して、教育委員会が表彰を行うことにより、児童生徒の実践意欲を一層高め、心の教育を推進する。
- 小学校6学年及び中学校第3学年在籍の児童生徒（各校1名）を表彰
- 表彰要件別の件数については以下のとおり
 - ・ 表彰要件①（きまりを守る素直な心を持った児童生徒）63名
 - ・ 表彰要件②（よわい人をいたわる心を持った児童生徒）53名
 - ・ 表彰要件③（美しいものを愛する心を持った児童生徒）13名
 - ・ 表彰要件④（夢を抱いてやりぬく心を持った児童生徒）38名
 - ・ 表彰要件⑤（その他、学校や地域の活動において他の模範となっている児童生徒）58名

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

伊藤委員
学校教育課長

朝会などで、校長先生が受賞理由も含めて表彰するのか。
朝会などの全校集会で、受賞理由や激励の言葉とともに校長が表彰するのが通例である。

伊藤委員
清島委員
学校教育課長

是非例外なくやってほしい。
表の「◎」と「○」の違いはあるのか。
複数の要件で推薦する場合、特に該当するものを「◎」、それ以外を「○」で記載してもらっている。

教育長
教育長
教育長

丸の数の合計が記載されており表がわかりにくいため、改善した方がよい。
このとおり承認してよろしいか。(全員了承)
それでは、報告第9号を承認いたします。

教育長

続きまして、**報告第10号 「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの平成28年度結果概要について**説明願います。

学校教育課長

- 【説明要旨】**
- 学校教育に関わる意見や意識を数値化し、学校評価へ反映することにより、学校評価の客観性や信頼性を高めることや、全校共通質問の市平均等との比較により自校の強みや弱みを確認し、学校評価に反映することを目的として、全教職員・児童生徒・保護者、任意の地域住民を対象に「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートを実施した。
 - 集計結果の概要については以下のとおり
 - (1) 市全体
 - ・ 肯定的回答割合が教職員は15項目中12項目、地域住民は15項目中13項目、児童生徒は14項目中11項目それぞれ増加
 - ・ 保護者の肯定的回答割合は、すべての項目において減少傾向
 - ・ 肯定的回答割合が全59項目中36項目(61%)増加
 - ・ 肯定的回答割合が特に2ポイント以上増加が見られた項目
(教職員) No.10 (時と場に応じたあいさつ) (3.1%)
No.11 (時と場に応じた言葉づかい) (2.2%)
 - ・ 肯定的回答割合が2ポイント以上減少が見られた項目
(保護者) No.2 (熱心な指導) (-2.5%)
No.4 (分かりやすい授業) (-3.0%)
No.5 (いじめ対策の公表) (-3.6%)
No.14 (積極的な学習) (-2.0%)
 - (2) 小学校
 - ・ 肯定的回答割合が全59項目中27項目(45.7%)増加
 - ・ 保護者の肯定的回答割合は、すべての項目において減少傾向
 - ・ 肯定的回答割合が特に2ポイント以上増加が見られた項目
(教職員) No.10 (時と場に応じたあいさつ) (3.9%)
No.11 (時と場に応じた言葉づかい) (2.8%)

- 肯定的回答割合が2ポイント以上減少が見られた項目
 (保護者) No.2 (熱心な指導) (-2.0%)
 No.4 (分かりやすい授業) (-2.6%)
 No.5 (いじめ対策の公表) (-2.9%)
 No.13 (好き嫌いのない給食) (-2.0%)
 No.14 (積極的な学習) (-2.0%)

(3) 中学校

- 肯定的回答割合が全59項目中38項目(64.4%)増加
- 肯定的回答割合が、地域住民は14項目中13項目、生徒は14項目中12項目それぞれ増加
- 保護者の肯定的回答割合は、すべての項目において減少傾向
- 肯定的回答割合が特に2ポイント以上増加が見られた項目
 (教職員) No.14 (積極的な学習) (2.4%)
 (地域住民) No.5 (いじめ対策の公表) (5.4%)
 No.10 (時と場に応じたあいさつ) (2.3%)
 No.11 (時と場に応じた言葉づかい) (3.4%)
 No.14 (積極的な学習) (2.0%)
 (生徒) No.15 (落ち着いた学習) (2.2%)
- 肯定的回答割合が2ポイント以上減少が見られた項目
 (保護者) No.2 (熱心な指導) (-3.7%)
 No.4 (分かりやすい授業) (-4.4%)
 No.5 (いじめ対策の公表) (-5.6%)

○ 保護者の肯定的回答割合がすべての項目において減少傾向であることについての要因は、各校に聞き取りを行ったものの不明である。教職員や児童生徒の肯定的回答割合が増加していることを踏まえると、校内の実態が保護者まで届いていないのではないかと予想される。

教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

山田委員

先生や学校によって回答の基準が違うため、市全体よりも各校で前年度との比較を行った方がよいだろう。

学校教育課長

非常に厳しく回答する方など、山田委員のおっしゃるとおり各校で基準が違うため、市全体での比較のほかに、各校での比較や、単年度での絶対評価など、多面的に評価をしている。

山田委員

給食の状況など、地域や保護者はわからない設問もある。年度ごとの比較のため、定期的に設問を変えることはよくないと思うが、アンケートを始めてある程度の年数が経っているため、答えにくい設問を見直す検討をしてはどうか。

学校教育課長

設問の見直しは毎年度行っており、修正を加えるなどしているが、市の施策の指標となっている設問は文言を変えることができない。今回、設問12の文言を修正したところ、学校によっては約20ポイント下がってしまい、昨年度との比較ができなかった。正しい評価ができない設問を残しても意味がないので、今後も引き続き見直していく。

教育長 かつて、地域住民が「わからない」と回答していたものが多くあったが、現在はどうなっているのか。

学校教育課長 文言を変えたものもあるが、「わからない」を除いて結果を出すこととした。現在も「わからない」という回答はあるが、給食を食べに来てもらうなど、地域の方に学校を知ってもらう機会をつくっているため、以前と比べて「わからない」という回答は減った。

大場委員 保護者の肯定的回答割合が減少傾向ということだが、あいさつや言葉遣いなど、わが子を見て判断しやすい項目があり、自分の見ていないところでの子どもの様子はわからないため、自宅での様子の評価になってしまうのだろう。自宅ではいい加減な言葉遣いをしていても、自宅外ではしっかりとした言葉遣いができていることもあると思うので、評価が低いことについてはあまり気にしなくてもよいのではないかと。

学校教育課長 そういったこともあると思うが、昨年度も同じ状況であり、昨年度と比較して下がっていることについては真摯に受け止めなくてはならないと思っている。また、学力調査の算数で栃木県が全国最下位ということや、横浜などでの被災地からの避難者に対するいじめがニュースになった時期に行ったアンケートであるため、保護者からのイメージが悪かったことも考えられる。色々な要因が考えられるが、そういったことは差し引いて、学校で取り組んでほしいと校長会で伝えたところである。

教育長 このとおり承認してよろしいか。(全員了承)

教育長 それでは、報告第10号を承認いたします。

教育長 続きまして、**報告第11号 平成28年度本市児童生徒の体力について**説明願います。

【説明要旨】

学校健康課長 ○ 平成28年度「元気っ子健康体力チェック」における新体力テスト結果の全国との比較については以下のとおり

(1) 小学校5年生

- ・ 「上体起こし」「反復横跳び」「50m走」では男女ともに記録が全国平均値を上回っている。「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」では女子の記録が全国平均値を上回っている。
- ・ 「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」では男女ともに記録が全国平均値を下回っている。「握力」「長座体前屈」「20mシャトルラン」では男子の記録が全国平均値を下回っている。
- ・ 総合的な体力水準を示す「体力合計点」では、女子の値が全国平均値を上回り、男子の値は昨年が全国53.81、本市53.52だったものが今年度は全国53.93、本市53.92になり全国平均値とほぼ同等となった。

(2) 中学校2年生

- ・ 「反復横跳び」では男女ともに記録が全国平均値を上回っている。「20mシャトルラン」「50m走」では男子の記録が、「握力」「上体起こし」で

は女子の記録が全国平均値を上回っている。

- ・ 「長座体前屈」「立ち幅跳び」「ハンドボール投げ」では男女ともに記録が全国平均値を下回っている。「握力」「上体起こし」では男子の記録が、「20mシャトルラン」「50m走」では女子の記録が全国平均値を下回っている。
- ・ 総合的な体力水準を示す「体力合計点」では男女ともに全国平均値を上回っている。

○ 考察

- ・ 本市の体力の種目別の特徴については、筋持久力（上体起こし）、敏捷性（反復横跳び）、走力（50m走）が優れている。また、柔軟性（長座体前屈）、跳力（立ち幅跳び）、投力（ソフトボール投げ、ハンドボール投げ）が課題である。
- ・ 本市児童生徒の総合的な体力水準については、8種目の合計得点による総合評価からは、全国平均をやや上回っている状況が見られる。（小5女子、中2男女で全国平均を上回り、小5男子でほぼ同様）
- ・ 本市の体力水準の特徴としては、総合評価のD段階とE段階を合わせた割合が全国平均を下回ることや、中でもE段階の割合が全国平均等と比較し低いことから、本市の体力向上の様々な取組により児童生徒の体力面での底上げが図られているものと考えられる。
- ・ 体力向上には継続した取組が重要であることから、引き続き創意工夫をしながら各種取組について推進していくことが必要である。

教育長
伊藤委員

説明が終わりましたが、質疑などありますか。

投力が低いと言われているが、飛距離については体力よりも技術面の影響が大きいのではないかと。昔と比べると野球が流行っていないことが背景にあるのかもしれない。投げる技術を教えたなら記録も上がるように思う。

学校健康課長

伊藤委員のおっしゃるように、昔と比べるとボールを投げる機会が減っているように思うので、教える機会を増やしていきたい。基礎・基本を教えることが重要であり、現在も、「ハンドボールの投げ方」DVDを配付したり、うつのみや元気っ子チャレンジでボール投げリレーに取り組むなど、投力の向上を図っているが、今後はさらに推奨していく。

大場委員

参考資料を見ると、1位と2位を福井県と茨城県が占めている。茨城県については、隣県であり、食生活など栃木県と似ているところがあると思うので、どういったことで茨城県が差をつけているのか検証して取り組んでほしい。

学校健康課長

記録を上げている学校の情報をもらい、各校に情報提供しているところである。授業の中では、自己分析や友達との話し合いにより体力を評価し、目標を達成したときの自己肯定感を高めることに取り組んでいる。

教育長
教育長

このとおり承認してよろしいか。（全員了承）

それでは、報告第11号を承認いたします。

教育長

続きまして、**報告第12号 宇都宮市文化会館大規模改修工事について**説明願います。

文化課長

【説明要旨】

- 宇都宮市文化会館は、昭和55年の開館から30年以上が経過したことから、施設・設備の老朽化に対応し、安全性や快適性の向上を図るため、大規模改修工事を行った。
- 工事の主な内容
 - (1) 安全性の向上
 - ・ 大小ホール天井の耐震化
 - ・ 外壁タイルの補修
 - (2) ホール音響の向上
 - ・ 大小ホールのスピーカーの更新
 - ・ 大小ホールの天井の形状、及び床の材質の変更
 - (3) バリアフリー・アメニティの向上
 - ・ 大小ホール客席のゆとりある形状へ全面更新
 - ・ 大ホールに2・3階席への専用エレベーターを新設
 - ・ 大ホールの女性用トイレを増設（27基→34基）
 - ・ 大ホールにベビーチェア（16基）、ベビーシート（4基）、パウダールーム（1か所）を新設

教育長
教育長

説明が終わりましたが、質疑などありますか。（特になし）
このとおり承認してよろしいか。（全員了承）
それでは、報告第12号を承認いたします。

教育長

次は、「その他」の案件になります。
その他の案件については資料提供のみですので、後ほどご覧ください。

【公開できる案件の終了】

教育長

これからの議案については非公開の案件となりますが、本日は傍聴者がいらっしゃいませんので、引き続き審議を行います。

【非公開審議の開始】

議案第2号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について

⇒ 決定

議案第3号 平成29年度教育委員会の組織について

⇒ 決定

報告第5号 教育行政相談の内容と対応について

⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長

以上で議事は終了となりますが、委員の皆様から何かご意見などございますか。
(特になし)

教育長

それでは、事務局から連絡事項をお願いいたします。

事務局

連絡事項説明

○ 3月教育委員会の日程について

- ・ 3月 8日(水) 午前 9時00分 臨時会
- ・ 3月21日(火) 午後 1時30分 定例会

教育長

以上をもちまして、本日の委員会を閉会といたします。
終了時刻 午後3時30分

署名委員

署名委員
